

関連する研修

- ・ハードクレーム対応研修
- ・判断力・決断力研修
- ・わかりやすい資料づくり研修

⑪ 危機管理 研修

実践！リスクマネジメントとしてのマスコミ対応、ネット対応

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ リスクマネジメントの基礎（考え方、問題が起きた時の初期対応）
- ◆ ネット対応技術（SNS対応、炎上予防と対処）
- ◆ マスコミ対応技術（記者からの問い合わせ対応、記者会見のやり方）
- ◆ 公表用資料作成技術（記者向け、一般市民向け）
- ◆ 発表・説明・質問への回答技術（記者向け、一般市民向け）

日 時：令和4年7月11日（月）9：20～16：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：係長級以上の職員（定員 35名）

※申込締切日 令和4年6月10日（金）

〈研修内容〉

I. 講義

- リスクマネジメント基礎
- マスコミとはメディアとは
- 記者対応
- SNS対応
- 危機管理広報基礎
- リスク・コミュニケーションとクライシス・コミュニケーション
- 事例紹介（失敗事例と成功事例、コロナ禍対応等直近の事例）

II. 実習1

- ポジション・ペーパー（発表資料）の作成（グループディスカッション）

III. 実習2

- 模擬緊急記者会見（発表者役と記者役に分かれてロールプレイシミュレーション）

IV. 質疑応答、全体ディスカッション



講師 宇於崎 裕美 氏より一言

実際に事件や事故に巻き込まれた企業や自治体、学校からの相談を受け、処理に当たってきた私の経験から講義では危機管理広報の成功のポイントを具体的にお話しします。

本研修は効果の高いアクティブラーニングを取り入れています。受講者の皆さんにはグループディスカッションを通してクライシスが発生した時、地域住民や報道関係者に対する説明責任をどうすれば果たせるのか、じっくり考えて頂きます。そしてグループメンバーの意見をまとめ、ポジション・ペーパー（発表資料）を作成して頂きます。これにより、意見の違う人たちとのチームワークのコツがつかめます。さらに、模擬緊急記者会見を実施、発表者役あるいは記者役を体験して頂きます。このように実践的な講義と実習により、すぐに役立つ知識と技術を身に付け、記者やSNSユーザーを含む世間の人々に向き合う精神力を養うことが出来ます。

クライシスが発生した時の緊急記者会見はもっとも難しいコミュニケーションの一つです。本研修でその対応方法を学んで頂くと、通常のコミュニケーションにおいてもプラスの影響が出てきます。日常業務での口頭説明や文書作成が上手くなることが期待できます。

⑫ 財務事務 研修

関連する研修

- ・ 公会計研修基礎編
- ・ 公会計研修応用編

日 時：令和4年9月2日（金） 9：50～16：00

会 場：web

対象者：出納・財務事務担当の初任者（定員 50名）

※申込締切日 令和4年8月2日（火）

〈研修内容〉

10：00～12：00 市町村財政動向

13：00～14：00 収入・支出事務

14：10～16：00 契約事務

講師；市町村財政動向／契約事務
収入・支出事務

佐賀県総務部市町支援課職員（予定）
佐賀県出納局会計課職員（予定）

⑬ 公 会 計 研 修

〈基礎編〉

関連する研修

- ・ 公会計研修応用編
- ・ 公共 MBA 研修初級
- ・ 公共 MBA 研修中級

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 複式簿記の基礎
- ◆ 貸借対照表に対する理解

日 時：令和4年7月1日（金）9：20～12：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：全職員（定員 60名）

※電卓を持参すること（スマホの電卓機能可）

※申込締切日 令和4年6月1日（水）

〈研修内容〉

1. なぜ、複式簿記なのか？
2. 複式簿記の基本的な仕組み
3. 費用の配分とは何か？
4. 貸借対照表とは何か？

これらの内容を解説するとともに、問題演習を行うことによって、複式簿記の基礎を身に付ける。また、単式簿記の官庁会計では作成されることのない貸借対照表について、実際の地方自治体のものを使って簡単な財務分析を行うことにより体験的に学習する。貸借対照表とは何かを理解することによって、発生主義・複式簿記を導入する意義を理解する。



講師 川崎 智寛氏より一言

複式簿記を学ぶということは、新しいゲームのルールを学ぶことです。そのためには、解説書を何回も読むよりは、自分で仕訳を作成する、簡単な財務諸表を作成してみる、簡単な財務諸表分析を行ってみるなど、実際にゲームをやってみることが大切です。

また、複式簿記の理解は積み重ねが重要です。講師の話を聞く、解説書を読むだけでは不十分で、何度も触れることが重要です。この研修に参加して複式簿記の仕組みや利用方法など、複式簿記の理解のきっかけがつかめたと感じた方は、ご自身の所属する自治体の公会計財務諸表や公営企業決算書などの分析を行って複式簿記への理解を深めて頂きたいと思います。

⑭ 公 会 計 研 修

〈応用編〉

関連する研修

- ・ 公会計研修基礎編
- ・ 公共 MBA 研修初級
- ・ 公共 MBA 研修中級

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の読み方
- ◆ 将来キャッシュフロー計算書を使った長期財政シミュレーション

日 時：令和4年7月1日（金）13：30～16：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：複式簿記の基礎知識がある者（基礎編受講者は受講可）

（定員 40名）

**※電卓（スマホの電卓機能可）、可能であればスマホ
もしくはタブレット持参**

※申込締切日 令和4年6月1日（水）

〈研修内容〉

1. 官庁会計の限界と企業会計導入の必要性
2. 貸借対照表・損益計算書を使った分析 その1
3. 貸借対照表・損益計算書を使った分析 その2
4. キャッシュフロー計算書を使った分析

※財務諸表分析はグループ演習形式で実施

東証一部上場企業及び地方公営企業の貸借対照表、損益計算書及びキャッシュフロー計算書を使って簡単な財務諸表分析を行い、「作成された財務書類から何が読み取れるのか？」を体験的に学習する。また、この財務諸表分析を通じて、水道事業及び下水道事業の特徴を理解し、今後の経営のあり方について考察する。



講師 川崎 智寛氏より一言

この研修は財務諸表分析演習を中心とした参加型の研修です。グループ演習形式で行いますので、黙って講師の話を聞くのではなく、積極的に質問する、受講者同士積極的に議論することが重要です。豊富な実例を交えて解説しますので、個人的な感想・思いつきでも何でも結構ですから、積極的に発言してください。

財務諸表分析は、分析指標を計算して、その結果を解釈することが重要です。インターネットで調べることができると、分析指標の解釈に深みが増し、有意義な財務諸表分析が可能になります。当日は電卓及びスマホを持参してください。電卓はスマホの電卓機能で十分対応可能です。

⑮ 行政法 研修

関連する研修

・第4部研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 情報公開制度及び個人情報保護制度の趣旨及び運用上のポイント（特に、開示不開示の判断に際しての考え方）
- ◆ 法令や条例の仕組みを理解し、今後の法令・条例の解釈及び運用に役立つ法的知識
- ◆ 職員倫理に対する認識を深めることにより、公務員としての立場と責任を改めて自覚し、自信を持って公務を推進することができるようになるスタンス

日 時：令和4年12月9日（金）9：20～16：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：全職員（定員 30名）

※申込締切日 令和4年11月9日（水）

〈研修内容〉

1. 情報政策

情報公開制度および個人情報保護制度について、佐賀市の条例と自分の自治体の条例を比較しながら、逐条的に、各条文の意義、特徴、手続、運用上の相違点や留意点を理解した上で、開示の可否や個人情報の取り扱いの適否を事例の検討を通じて行う。

2. 政策法務

自主的に条例を制定する際に問題となる「法律と条例の抵触」の問題をテーマに、最高裁の考え方を理解したうえで、具体的な事例の検討。

3. 倫理規範

地方公務員法上の義務と責任を確認し、さらに公務員倫理について、「唐津市職員倫理行動規準」を素材として、具体的事例において、職員倫理上の（利害関係者との）禁止行為を判断する際の考え方を検討。



講師 村上 英明氏より一言

皆さんが現在担当しておられる事務の法的問題（特に、情報公開および個人情報保護の分野）に関する質問を受ける時間を取り、時間の許す限り相談にのりますので、情報公開の可否、個人情報の本人開示の適否、その他の法的問題に関して判断が困難な事例をご遠慮なく提示してください。